

昭和こじょう会便り

2008年9月 53号

目次

表紙 (八事興正寺五重塔)			1
特別寄稿 期待しています「昭和こじょう会」	安藤 隆 (昭新社協事務局長)		2
活動結果報告	昭和鯨城会		3
10月～12月の行事予定	昭和鯨城会		4
作品展案内	昭和鯨城会		5
行事レポート			
古川美術館と為三郎記念館の見学に参加して	岩竹 秋子 (20期)		6
クリーンキャンペーン 道徳公園	吉村 卓次 (15期)		7
名古屋港のオアシス「ブルーボネット」	安福 郁子 (21期)		8
自由寄稿			
連鶴同好会 (桑名の千羽鶴) に入って	大野 敏博 (18期)		9
行こみゃー昭和区② 八事興正寺	村上 洋三 (20期)		10
詩吟の歴史と健康長寿の秘訣	児玉 高 (19期)		12
難波の葦は伊勢の濱萩ー「かき氷」の巻	渡辺 晴朗 (20期)		13
ボランティア			
朝顔の苗植えを行ないました	奥田 幸男 (20期)		14
クラブ便り			
リズム体操	辻 慶明 (17期)		15
グラウンドゴルフ	永田 祐千 (17期)		16
俳句・短歌			
俳句「越前の旅」	石橋 政雄 (17期)		17
短歌	木村 恒 (18期)		17
掲示板・編集後記			18

発行：名古屋市高年大学鯨城会・昭和鯨城会

期待しています「昭和こじょう会」

昭和区社会福祉協議会

事務局長 安藤 隆

「昭和こじょう会」におかれましては、今年も昭和区の福祉まつり実行委員会に加わっていただき、まつり当日は土鈴の絵付けや陶芸作品のチャリティー販売をいただきありがとうございました。

今年の夏は、ことのほか暑さが厳しく、準備をされた会員の皆様、当日参加いただいた会員の皆様には、本当にお疲れ様でした。

また、毎年、チャリティー販売の売上金を昭和区の福祉向上のためにご寄付いただき、重ねてお礼申し上げます。

私が昭和区社会福祉協議会にまいりました6年前と比べますと、「昭和こじょう会」はボランティア活動や社会参加活動への取り組みが、年々活発になってきているのではないかと感じております。平成17年度の総会だったかと思いますが、当時の会長さんから社会見学や親睦活動ばかりでなく、ボランティア活動など社会貢献活動にも積極的に取り組んでいきたいというお話があり、なごやボランティア・NPOセンターの所長さんと昭和区ボランティア連絡協議会の会長さんを講師にボランティア活動についての講演会が行われました。

その後、まずは無理なく誰もがができるボランティア活動ということで、社会福祉施設へタオルや手縫いの雑巾を贈る活動が続けられています。

また、「ゆめ緑道ごきそ」への活動参加や老人ホームでの庭木剪定などのボランティア活動にも取り組んでおられます。そして、今年度、昭和こじょう会にボランティア委員会が設置をされたとお聞きしました。これは画期的なことであり、これからの活動展開に大きな期待をいたしております。昭和区社会福祉協議会といたしましても、バックアップに努めてまいりたいと考えております。

平成18年3月に策定、公表された「はつらつ長寿プランなごや2006」(名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)においても、高年大学の充実を図るとともに、区社会福祉協議会との連携を進めるなど、卒業生で組織する「こじょう会」の地域活動を支援することを今後の方針にあげています。

「昭和こじょう会」の皆様にも、地域に根ざした団体として、会員相互の連帯を深めていただきながら活動いただくとともに、社協の良きパートナーとして“ふれあいと支えあいのある福祉のまちづくり”への取り組みにご協力くださいますようお願いいたします。



活動結果報告

* 会議	6月	5日	鯉城会 幹事会(日比野)		
				① 各区会の同好会の対抗戦により会員の親睦を図りたい	
				② エンジン01文化戦略会議(20. 11. 6~9 国際会議場)について 「動」をコンセプトとし、スローガンは「人間動物園へ行こう」	
		13日	6月度役員会		
				① ゆめ緑道ごきそ「花壇の水遣り当番」決定	
				② 福祉まつりチャリティ販売用陶器類の寄贈について	
				③ 「趣味の作品展」の作品募集について	
				④ 22、23期生への区会活動説明会について	
		14日	昭和区の福祉まつり実行委員会(長谷川)		
		21日	昭和区グリーンマップ総会		
				荒木、大館、小塚、近藤(誠)、富永、長谷川、日比野、前田(重) ”環境と自然”をテーマに昭和区のマップ作り	
		23日	鯉城会 代議員会(長谷川)		
				① 区会活動説明会(7月16、18日)について	
				② 名古屋市民親善使節(上海、南京)について	
				③ エンジン01文化戦略会議(20. 11. 6~9 国際会議場)について 「動」をコンセプトとし、スローガンは「人間動物園へ行こう」	
		7月	7日	鯉城会 幹事会(大館、日比野)	
				① 第16回 公開講演会... 満席	
				② 次回は12月4日(木)の予定	
			11日	7月度役員会	
				① 福祉まつりの役割分担決定	
		② 「趣味の作品展」の各委員会役割分担決定			
		③ 会則の見直しについての準備委員会は会長に一任			
		④ 8月から役員会(9:30~)と運営委員会(10:30~)			
	12日	福祉まつり実行委員会(長谷川)			
	14日	グリーンマップ 第2回会議(長谷川、小塚、富永、日比野、前田、近藤)			
	16日	23期生対象 区会活動説明会(長谷川、富永、小塚、日比野)			
	18日	22期生対象 区会活動説明会(長谷川、大館、小塚、日比野)			
8月	2日	福祉まつり実行委員会(長谷川)			
	8日	8月度役員会			
		① 年末タオル寄贈従来通り今年度も実施(広報誌53号に掲載)			
		② 「趣味の作品展」のチラシ配布			
		③ 「ゆめ緑道ごきそ」・・・種蒔き等の行事多し、協力要請			
	9月	12日	9月度役員会		
* 行事	6月	7日	名古屋市クリーンキャンペーン 道德公園	13名(鯉城会・学園計460名)	
			行事 古川為三郎記念館	24名	
		10日	土鈴絵付け用見本づくり	8名	
		17日	昭和デイサービスセンターにて土鈴絵付	4名	
		18日	広路小学校6年生との育苗交流会参加(ゆめ緑道ごきそ)	8名	
		19日	第5回 土鈴づくり	6名	
		25日	クリーンパートナー	13名	
		29日	第26回昭和区の福祉まつりシンポジウム(区役所講堂)	10名	
		7月	5日	川名公園森づくり隊 公園内清掃	1名
			7日	なごやかハウス福原 朝顔再植栽	4名
			8日	福祉まつり用ストラップ作り	6名
			11日	第6回 土鈴づくり	6名
			15日	行事 ブルーボネット	7名
			22日	クリーンパートナー	13名
		8月	24日	第26回昭和区の福祉まつり	25名
			26日	区民まつり用ストラップ作り	7名
			27日	クリーンパートナー	12名



10月～12月の行事予定

【10月】

● 昭和区区民まつり

- 日時 ..10月26日(日) 10:00～15:00
- 場所 ..鶴舞公園 小雨決行
土鈴絵付け、陶芸作品チャリティー販売
ほかにイベント・模擬店など多数あり



● 昭和鯖城会・第6回 趣味の作品展

- 日時 ..10月28日(火)～30日(木)
10:00～16:30(最終日は14:30)
- 場所 ..昭和区役所 6階 第4会議室
絵画・書・写真・陶芸・手芸・服飾品・PC作品・水墨画・刺繍・
俳句・短歌・木版画・連鶴・盆栽など

【11月】

● 紅葉の東山荘と山崎川散策

- 日時 ..11月28日(金) 雨天決行
- 集合場所 ..地下鉄 新瑞橋駅
4番出口階段下
- 集合時間 ..午前9時30分
- 行程 ..新瑞橋 ⇒ 山崎川
⇒ 東山荘 ⇒ 石川橋
距離 約3.5km

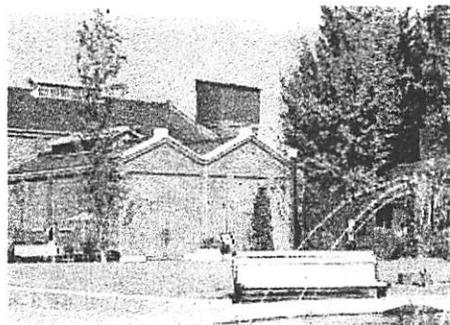


東山荘 ▲

【12月】

● 刈タケの森と産業技術記念館 見学

- 日時 ..12月19日(金) 雨天決行
- 集合場所 ..地下鉄桜通線
国際センター駅改札口付近
- 集合時間 ..午前9時30分
- 行程 ..国際センター駅 ⇒
四間道 ⇒ 円頓寺
⇒ 刈タケの森 ⇒ 産業技術記念館
距離 約3km



刈タケの森 ▲

ノリタケ(クラフトセンター)・産業記念館 65歳以上無料(但し年齢証明できるもの所持要)

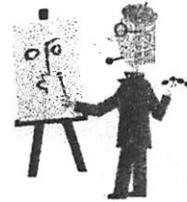
詳細は別途案内をごらん下さい

昭和鯨城会・第6回趣味の作品展出展についてのお願い



趣味の作品展へ出展される場合、展示レイアウトの調整や出展リスト・作品名札の作成のため、出展申し込みは 10月3日(金) までに、さきにお届けした申込票で学区委員までご提出またはご連絡下さい。

また、お申し込みいただいた作品の搬入は 10月27日(月) 14時30分、搬出は 30日(木)14時30分です。時間厳守でお願いします。



平成20年度各区鯨城会作品展展示会予定

区	展示会	場所	開催日
千種	千種花水木鯨城会作品展	芸文センター	10/7～13
東	ふれあい作品展	ふれあい黒川ギャラリー	10/9～11
北	北生涯学習センターまつり	北生涯学習センター	10/25～26
	北鯨城会趣味の作品展	ふれあい黒川ギャラリー	21年3月(予定)
	北鯨城会作品展示(絵画・写真)	名城病院ロビー	年2回予定
西	第5回総合作品展	ふれあい黒川ギャラリー	10/1～5
中村	中村鯨城会作品展	本陣ギャラリー(予定)	11月(予定)
	中村鯨城会写真同好会展	本陣ギャラリー(予定)	21年1月(予定)
中	中鯨城会作品展	県生涯学習センター	9/1～5
昭和	昭和鯨城会趣味の作品展	昭和区役所	10/28～30
瑞穂	瑞穂鯨城会趣味の作品展	名古屋市博物館	10/22～26
熱田	熱田生涯学習センターまつり	熱田生涯学習センター	11/8～9
中川	中川鯨城会作品展	中川区役所講堂	6/2～3
港	港鯨城会作品展	ふれあい黒川ギャラリー	11/5～9
南	南鯨城会趣味の作品展	南区役所講堂	10/21～22
守山	守山鯨城会趣味の作品展	名古屋市民ギャラリー矢田	10/21～26
緑	緑鯨城会と区民の趣味の作品展	緑区役所	11/8～9
名東	総合美術展	名東区役所	5/23～25
天白	天白生涯学習センターまつり	天白生涯学習センター	10/4～5

お詫びと訂正: こじょう便り 52号の表紙目次でミスがありました。お詫びして訂正させていただきます。



	誤	正
篆刻のはなし.....	山本慶次郎	山本慶治郎
リズム体操.....	永田 祐千	辻 慶明
グラウンドゴルフ.....	辻 慶明	永田 祐千

古川美術館と爲三郎記念館の見学に参加して

20期 (美術) 岩竹 秋子



時鳥一声

鯉城在学中には、たびたび訪れた古川美術館と爲三郎記念館ですが、その度に感動したものでした。それ以来の鑑賞となり、この機を逃してはならないとの思いで、当日を心待ちにしていました。

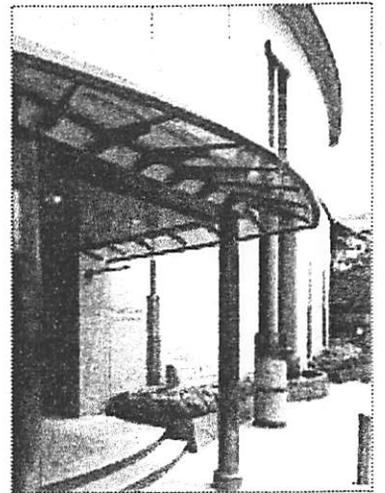
6月7日は幸い天気にも恵まれ、一行は10時の開館を目指しました。美術館では「京都の画家たち」という企画展が開催されており、明治以降に京都の画壇で活躍した竹内栖鳳の入門を中心に上村松園、伊藤小坡など数多くの画家が登場していました。

私が最も惹かれた作品は、松園の「時鳥一声」でした。大きな画紙に小さく女性と丸い窓が描かれたものですが、それだけで時鳥の鳴き声が聞こえ、空気を感じ、風さえ伝わってきました。同行の皆さんもそれぞれに何かを感じ、何かを得られたことでしょう。

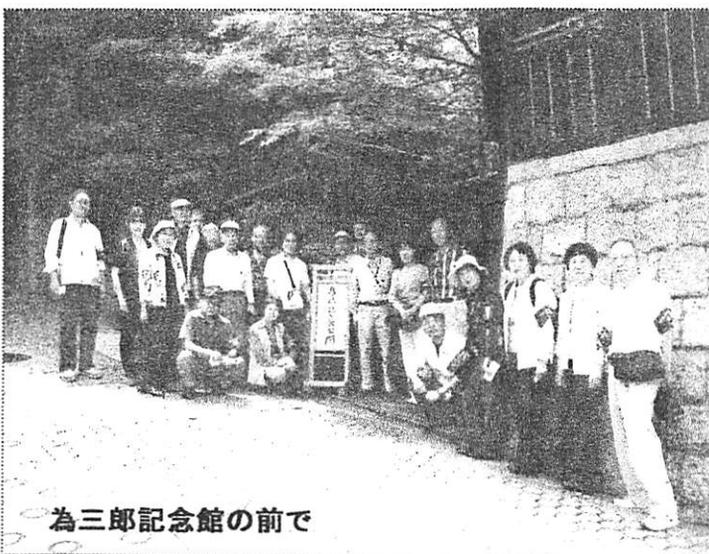
古川美術館を一時間ほど見学してから爲三郎記念館に移り、案内人の説明を受けました。

記念館は、急勾配の斜面に建てられた数奇屋建築の母屋「爲春亭」、椎の大木が茂り、四季折々の美しさを見せるという日本庭園、そしてその中にひっそりとたたずむ茶室「知足庵」から成り立っています。その外観は桂離宮の書院建築を彷彿させました。

現在では古川美術館に爲三郎所蔵の貴重な美術品が展示されていますが、まだ美術館の出来ていない30年位前に訪れたことのある同行のTさんは、当時、市松の無双窓を通して庭園を望む「大桐の間」に、それらの美術品が無造作に何点も置かれていたことを思い出され、感慨深か気でした。



古川美術館



為三郎記念館の前で

館内を辿るうちに、最期まで愛された邸宅や美術品の数々を公開するだけでなく、教育や福祉にも力を注いで、社会に多大な貢献をされた爲三郎の偉大さを感じました。爲三郎が残した素晴らしい財産を後世に大切に守り伝えていかなければと思います。爲三郎の情熱を感じ取りながら、緑豊かな五本の椎の木に覆われた美しい庭園を眺め、お茶を楽しみ、心豊かにして、記念館を後にしました。



「全市一斉クリーンキャンペーン・なごや 2008」 に参加しました

15期（地域） 吉村 卓次

前日の快晴は梅雨の中休みなのか、当日（6月7日）は薄曇りで少し蒸し暑い日となりましたが、道徳公園には青葉が輝き、標題の行事にふさわしいさわやかなイメージを参加者に与えてくれました。

9時30分頃、青葉の木立を通り抜けて吹いて来る風に向って、16区会と在学生在がそれぞれ所属を示す色鮮やかな幟旗（区会旗）をはためかせて整列。我が昭和鯨城会も、金山駅に集合した時点から気合が入っていた長谷川会長や役員諸氏の指示に従い、列の右端に近い位置に区会旗を先頭に、左右の他区会と共に列を整えて並びました。

鯨城会会長の挨拶、社会奉仕活動委員長から当日の行事に関する注意事項を受け、ボランティアスピリットをオンに切り替えて、開会式が行なわれる中央広場へ移動しました。

開会式では、道徳学区の代表として、道徳小学校6年生の男子生徒・女子生徒の二人が「僕たちは、空き缶やゴミのポイ捨てはしません」などと「まちピカ宣言」を読み上げ、松原武久市長は、「自然に返らないものが散乱しない都市にしたい」と挨拶。来賓の県会議員、市会議員の紹介に続き、来賓代表の挨拶があり、開会式終了後、参加者にゴミ袋等が渡された。市係員（女性）の先導で、鯨城会グルー

プは名鉄道徳駅のガード下を通り抜け、国道247号（西知多産業道路）のグリーンベルトに沿って熱田方面に向かう歩道の清掃区域に到着。

先頭の皆さんは獲物を掴むような素早さでゴミを拾って行きますが、当会は列順が後方に位置していたので、なかなかゴミが見つかりません。そこで一考、刈り込まれていて尚青葉の深いグリーンベルトの低部に狙いを定め、両膝を歩道につけて顔を地面スレスレにして繁みの下を覗いて見れば、まだ空き缶やビニール袋に入った生ゴミ等が隠れており、時間をかけて少しずつ進み、なんとかゴミを確保することが出来ました。30分ほど夢中になってのゴミ拾いでしたが、先頭の区会の皆さんが引き返して来たので作業を終えて後に続き、当初集合した場所に仮置きされているゴミ籠に、生ゴミと資源ゴミを慎重に分別しながら入れました。

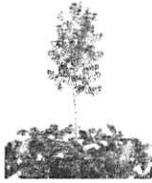
この度のキャンペーンに協賛された飲料メーカー提供のドリンクで喉を潤し、木陰に入ってタオルで顔を拭けば、ボランティアスピリットはオフに切り替わりましたが、上々の気分で会場を後にしました。鯨城会、区会役員の

皆さん、大勢の参加者のお世話ご苦労様でした。

後日、鯨城学園に当日の参加者数を尋ねたところ、鯨城会307名、在學生・学園関係者153名、合計460名とのことでした。



クリーンキャンペーン・道徳公園



名古屋港のオアシス 「ブルーボネット」

ルピナス

21期 (生活) 安福 郁子

7月15日火曜日、ワイルドフラワーガーデン行きのバスを降りた途端熱風が襲う。3日続きの酷暑。今日も暑そう！！

歩道橋を渡り、港の景色を見ながらブルーボネットのセンターハウスへ。10時10分の集合時間に揃ったのは7名！！

「資料を30部も用意してきたのに………」と先輩。この暑さではこの足を踏むよね…と言いつつ若い男性ガイドさんとスタート。

「今は花の少ない季節ですが」とのことでしたが、初めての私には美しい花、珍しい木に感激でした。

余りの暑さに「ビデオがあるので、まずそれを見ましようか」と…。冷房の効いたサニーハウスセミナールームへ。多くの人たちの知恵と努力を集めて出来上がった庭園の歴史と各エリア(22のガーデンがある)の紹介。前に見たNHKの「プロジェクトX」が、ふと浮かぶ。

この建物からは港の景色が見渡せ、1階には「センペルセコイア」というシンボルツリーが天井まで届くほど。

体も適当に冷え、皆、元気に庭園を廻り始める。

次々に花木の名前を教えていただく。「季節で花が変わり、種類も多く、覚えるのが大変で

すとガイドさん。

ところで、ブルーボネット「青い帽子」とは？テキサス州花「ルピナス」。ブルーの可愛い花弁が連なった形から、アメリカ西部開拓時代に女性が日よけに被っていた帽子(ボネット)に似ていることからつけられました。

庭園には可愛いブロンズ像があります。

お昼少し前に現地解散。1人は水族館へ、残り6人はセンターハウスのレストランでおしゃべりしながらゆっくり食事。先輩と親しくお話しでき、初参加の私にとっては楽しい1日でした。

また、季節を変えて訪れることにしましょう。



ブルーボネットで



頭の体操 マッチパズル

24本のマッチで図-1のように正方形が9個出来ています。この形から4本を除いて正方形を5個にする場合は図-2のようになります。では、

- A 6本を除いて正方形を3個に
- B 8本を除いて正方形を2個に
- C 8本を除いて正方形を3個に
- D 8本を除いて正方形を4個に
- E 10本を除いて正方形を2個にするにはどのようにすればいいでしょうか？

図-1

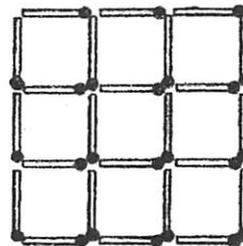


図-2





連鶴同好会(桑名の千羽鶴)に入って

18期 (国際) 大野 敏博

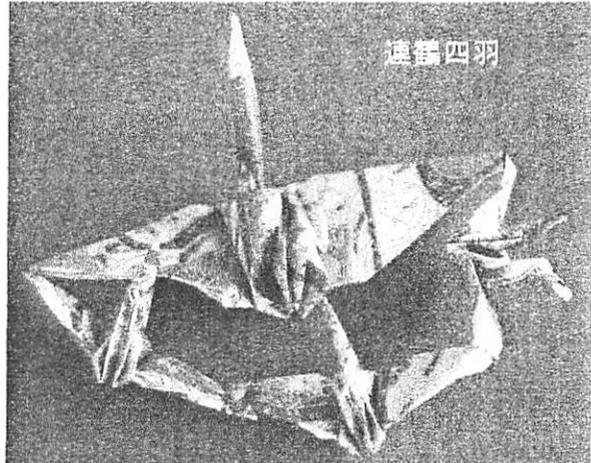
生まれてこの方折り紙で鶴を折った事など一度も無い僕が、ふとしたことから“連鶴同好会”に入ることになった。出会いはいつも突然やってくるものらしい。

そもそも、連鶴とは一体どんなものなんだろう？

一般に“千羽鶴”と言えば一羽の鶴を千羽折り、糸などで繋いだものをさすが、桑名で伝承されている千羽鶴は、一枚の紙から数羽の連続した鶴を折る独特の連鶴である。

少し歴史をひもとけば、これは江戸時代に桑名の長円寺住職である魯縞庵義道により考案された連鶴で、2羽から97羽の鶴を一枚の紙に切り込みを入れるだけで繋いでいく方法で折るものである。一羽ずつは普通の鶴と同じ折り方であるが、親鶴の上に子鶴が乗るような立体的なものや、何枚も重なる部分が出るもの、果ては穴を開けて通すものなどがあり、折り上げてみると発想もデザインもすばらしく、現在にも充分通用する感覚である。これが江戸時代に、地方の一僧侶によって考案されたと言う事は驚異的である。そして、義道のこの折り方は“桑名の千羽鶴”と名付けられ、桑名市の無形文化財に指定されている。

義道は、これら連鶴の折り方を完成させるのに18年という歳月を費やしたと言わ



れており、そこには思い付きや手慰みではなく、従来には無い変化に富んだ鶴を作り出そうとする義道の意志が感じられる。義道の考案した折り方のうち49種類を紹介した「千羽鶴折形」が寛政9年(1797)に刊行されており、遊びの折り紙の書物としては世界最古と言われている。現在その作品は、桑名博物館、六華苑(桑名の旧諸戸清六邸)で展示されている。

さて堅苦しいことはともかく、入会した時に先輩から次の三点の注意があった。

- * 一羽の鶴が完全に折れること
- * 和紙を使用する
桑名の連鶴は、形によってはかなり無理をしなければ折れないものもあるので丈夫な和紙が必要
- * 空中折りを覚えるように
卓上で「折り目正しく」との折り紙の基本から外れ、空中で手に持ったまま折れる様にする(何故か？ それは実際に折ってみればすぐ理解できる)

不器用で、太い指を恨めしく思いながら、四羽、六羽、八羽と少しずつレベルアップしてゆく自分がいる。少しはボケ防止になるのではなどと、せつない思いを抱いて連鶴づくりに励む今日この頃である。





行こみやー 昭和区 ②

20 期 (生活) 村上 洋三

(昭和区案内人クラブ)

八事 興正寺

地下鉄鶴舞線・名城線 八事下車

■ **由緒**・興正寺の創建は天瑞円照和尚によって草庵が造られた、貞享三年(1686)が始まりです。貞享五年、尾張徳川家二代光友公の帰依を受け、八事山興正寺の寺号を受けました。もともこの地は、名古屋の南東に位置し、三州街道の峠状の地形にあり、徳川家は防衛上砦の役割を持たせ、寺の周囲を堀で囲み、東山門は防備のため、名古屋城から移築したものです。明治になると、風光明媚なこのあたりは名古屋の別荘地として、また一般庶民の行楽地として人々が訪れるようになりました。町からトテ馬車、八事電車が走り「山行き」と云われました。昭和になるとこのあたりは、好環境の文教地区、住宅地として注目されるようになりました。私鉄八事電車は市電になり、やがて地下鉄鶴舞線、名城線、が開通、便利な交通の要地になりました。興正寺はまた真言宗、尾張高野山といわれ、毎月5、13日の縁日と、仲秋の名月の千灯供養には、多数の市民が訪れて親しまれています。

■ **総門**・寺の玄関、西山の入口、参拝する人は、右の道から入らず必ずこの門をくぐりたいもの。左側に東海地方の書家、大島君川の「八事山興正寺」の碑を見て、正面の五重塔に向って歩を進めます。参道の右側に勝軍地藏、六地藏、弘法大師像、左側には、七観音の石像の祠が並びます。

■ **中門**・嘗て女人禁制の修行の場東山と、誰でも参詣できる西山と二つの区域に分かれていました。しかし明治の終わり文明開化の世になって女人禁制がなくなり、東山と西山の境界にあった女人門は、五重塔前に移築され中門になりました。現在は能満堂の奥に女人門跡の標識があります。

■ **五重塔**・興正寺のシンボル、東海三県下唯一の木造五重塔。国の重要文化財で高さ 30m、中心に芯柱を通し揺れを吸収する耐震建築。第 7 代諦忍和尚の時代に弟子真隆が塔建築の一文講を発願、全国を行脚。浄財を集め 3 年後の文化五年(1808)に完成しました。塔自体を本尊とし、秘仏として 10cm の大日如来を中心柱に安置し、阿闍、無量寿、不空成就、宝生が四方に祀られています。美しい五重塔は四季おりおり自然にとけ込み、その優雅な姿は市民に親しまれています。今年は塔建立 200 年記念の年です。



■ **本堂 (阿弥陀堂)**・西山の中心で本尊は阿弥陀如来。不隋求明王、不動明王、愛染明王、文殊菩薩、弘法大師、寿老人、おびんずる様など数々の仏様が祀られ、皆様のお願いを聞いてくれます。堂は寛延三年(1750)真言念仏を専らとするため、宗春公自筆の「八事山」の額がかけられました。本堂後ろの位牌堂には尾張徳川家代々と、興正寺住職代々の位牌が安置されています。

■ **観音堂**・五重塔左の石段を上ると観音堂、十世潭道和尚が安政四年(1857)に再建されました。本尊は光友公の念持仏、正観音像(慈覚大師作)。脇仏は三十三観音木像(天瑞円照和尚作)。堂左には除夜の鐘の鐘楼、左下の石段横の石の道標は、別の場所にあったものをここへ移したもの。「**覺王山近道**」と彫られています。

■ **能満堂**・本堂右手の階段を上りつめれば能満堂。本尊は開山天瑞円照和尚作の虚空蔵菩薩立像。建物は尾張六代藩主継友公によって享保二年(1717)建てられたもの。

■ **宝篋(ほうきょう)印塔の道**・能満堂から大日堂へ向う途中、左右に宝篋印塔 360 基が連なる参道。これはお墓ではなくてお経を収める塔です。このあたりはなにか高野山参道の靈気が漂うところです。

■ **潮の干満の石碑**・七不思議のひとつ。石碑の裏側のくぼみに手を入れると、いつも水があり、名古屋港の潮の干満に関係ありと云われ、真夏でも枯れることは無い。

■ **金属音の九品(くほん)仏**・人は上品、中品、下品とあり、それぞれの信仰をすれば誰もが極楽浄土へ行けると云われています。この仏様のひざを叩くとカンカンと金属音がします。この仏様ひざや顔がずいぶん凹んだり欠けたりしています。これも七不思議のひとつ。

■ **大日如来像**・興正寺の総本尊、尾張二代藩主光友公が母の供養のため、元禄十年(1697)寄進建立。高さ 3.65m、市文化財で名古屋三大仏のひとつ。この大仏の下には、名古屋城まで地下道が続いていたとの伝説があったが、現在は市営地下鉄が名古屋城まで走っています。まさに伝説の通り。ここは呑海峰といわれる境内最高地点標高 80m。

■ **不動堂と奥の院(旧阿弥陀堂)**・不動堂は色々な煩惱と、罪障を払い捨てると云われる火炎を背に、手に剣を持つ不動明王が本尊で縁日は毎月 28 日。隣接する旧阿弥陀堂は奥の院と云われ、当山創建以来の古い建物。天瑞円照和尚が最初にこの地を訪れて創った草庵で、最初は茅葺屋根だった建物。

■ **八事山自然散策コース**・毎年、春と秋に「八事山を歩く会」を開催、町中の貴重な緑と自然にふれる 3.5km(40 分)のコース。ハゼの木、アベマキ、サカキの群落などをめぐり毎回沢山の市民が参加。コンサート、野点、物産店、講話、完歩記念品などあり。

■ **昆虫、野鳥たち**・境内には四季それぞれ 40 種以上の鳥が訪れ生息し、小鳥のさえざりに心癒される、バードウォッチングの好適地です。昆虫類もセミ、トンボなど、時にはホタル、カブトムシにも会えます。自然に恵まれた八事の森は大切に守りたいものです。

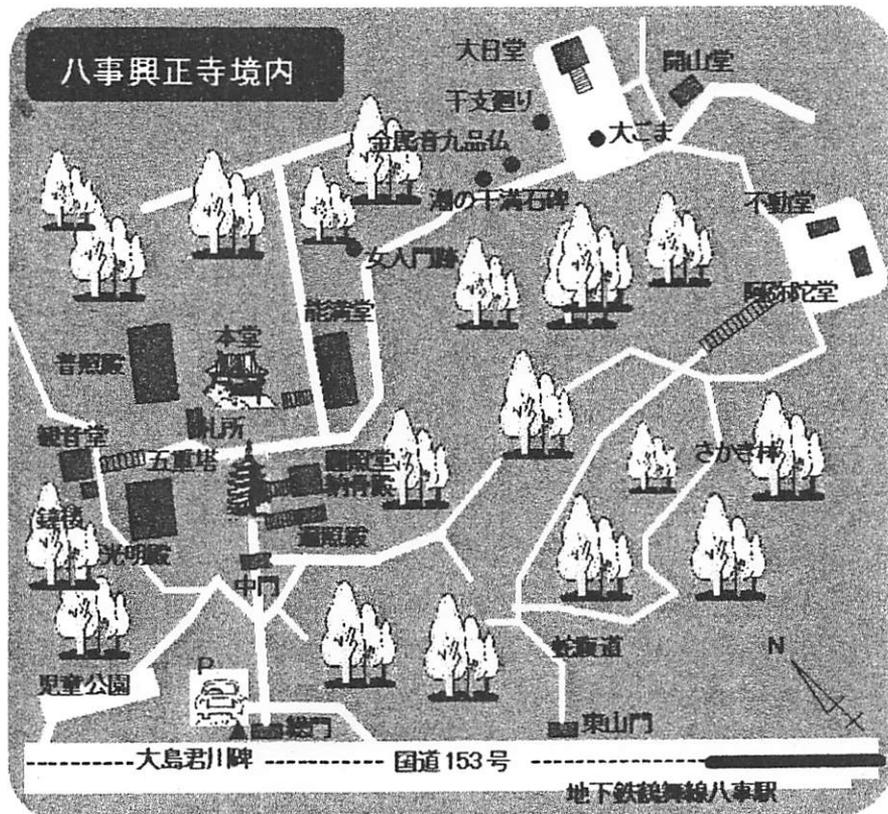
■ **納骨殿、圓照堂**・

五重塔横の階段を上れば、平成 18 年に完成した美しい多宝塔、合理的な先祖供養のための納骨殿で、これも新しい時代の流れか……

■ **八事七不思議**・

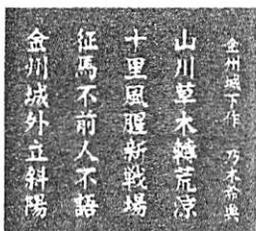
「姿見の阿伽井戸」・「大日如来のご利益」・「大日如来の乳首がない」・「宝塔十二支巡り」・「金属音のする九品仏」・「潮の干満の石碑」・「境内八町四面落雷なし」

次号では御器所台地を紹介します。



詩吟の歴史と健康長寿の秘訣

19期 (文化) 児玉 高



乃木希典「金州城下作」

詩吟って何でしょう？漢詩に節を付けて吟ずることですが、その源は古く紀元前 230 年頃、中国は秦の始皇帝の時代、[項羽]の漢詩「垓下の歌」が吟じられたのが最も古いかと思われます。その後数世紀の成熟期を経て唐の時代、西暦 730 年頃から最盛期に入り、[李白]の「峨眉山月の歌」・「静夜思」や[杜甫]の「登楼」・「春望」などが有名です。詩人二人によって漢詩の型式や規則が作られたと思われます。[張継]の「楓橋夜泊」も有名です。

日本では平安時代に入り西暦 830 年頃、[空海]の「後夜佛法僧鳥を聞く」、[菅原ノ道真]の「九月十日」などがあります。そして室町時代に至り、西暦 1340 年頃には[絶海中津]の「姑蘇台」・「雨後楼に登る」などがあります。戦国の安土桃山時代に至り、西暦 1530 年頃[上杉謙信]の「九月十三夜」などがあり、さらに江戸時代に入って多数の詩人が出ます。[石川丈山]の「富士山」、[新井白石]の「春日の作」、[服部南郭]の「夜下墨水」、そして[頼山陽]が登場します。彼の 13 歳の時の作品「述懐」に感動、他に「憶母」・「本能寺」・「題不識庵撃棧山図」も有名。[藤田東湖]の「夜座」、[良寛]の「無慾」、[藤井竹外]の「芳野」、そして[江馬細香](女性)の「夏の夜」などがあります。幕末には憂国の意気高揚のため大声で詩を吟じるようになりました。

明治時代に入って[西郷南州]の「書懐」、[大槻盤溪]の「春日山懐古」、[新島襄]の「寒梅」・「看山」、[乃木希典]の「金州城下作」などが有名です。

日本詩吟学院岳風会は、木村岳風(本名

岳風栄吟会吟行会(石川丈山苑)

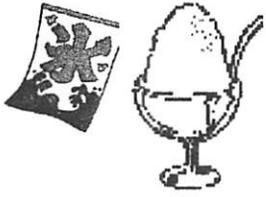
松本利次)によって創設されたものである。彼は西暦 1899 年(明治 32 年)に諏訪で生まれ、大正 10 年以後(朗吟)を研究し、昭和 2 年に国学振興会を設立、さらに研究を続けて詩吟の奨励行脚に出る。国内はもとより朝鮮半島から中国大陸まで渡った。著名人多数の後援を得て昭和 11 年、日本詩吟学院を創立した。独自の岳風流統の吟符を漢詩に振り付け、現在の吟詠の基礎を築いた。

〈朗吟〉は心の汚れをうち払い、精神的・肉体的に「中和」の人徳を養うものです。〈吟道〉は気を養い、体内に生命力が溢れます。〈朗詠〉は腹底からの発声により腹筋を鍛えて元気で明るく楽しく、いつまでも健康で長生きに有効です。

当「岳風栄吟会鶴舞支部」は、鶴舞公園の朝のラジオ体操と太極拳の仲間と平成 7 年に発足し、現在に至っています。教室ではドレミの楽符を使い、詩の音の高低を詩吟専用の楽器の伴奏で楽しく詩を吟じ、詩の風景を描くように心掛け、皆さん和気藹々で楽しんでいます。

鯨城会の皆さんも詩吟を始めてみませんか。齢をとってからの健康法は大きい声を出すことと歩くことです。ご参加をお待ちしています。





難波の葦は伊勢の濱荻—「かき氷」の巻

20期 (美術) 渡辺 晴朗

同じ物であってもその地方々々によって呼び名が違うことがよくあり、昔から「難波の葦は伊勢の濱荻」と言う言い方があるが、方言のうちのもの呼び名に関わる部分のことを言うものと思われる。

私は小学4年生まで京都で過ごし、5年生から高校を卒業するまでを清水で、学生の時にまた京都、社会に出てからはずっとこのかた名古屋住まいである。現在のように何処の街へ行っても同じような駅前、町並み、建物に様変わりしてしまい、その地方独特の趣きが薄れつつある時、「難波の葦は伊勢の濱荻」もアクセントの違い以外は影が薄くなりつつあるのだろうが、私のわずかな体験の中での「濱荻」について書き留めておこう。

まずは「かき氷」である。かき氷で色のついていないもの、つまり甘いシロップをかけただけのものを京都では「みぞれ」と呼んだ。清水では「甘露」という品書きであった。東京では「スイ」と言うらしい。これが名古屋では「せんじ」となる。永らくこの名古屋の「せんじ」の謂れが分らなかったが、この齢になってやっとそれらしい二通りの謂れを見つけた。

一つは清水義範という名古屋生まれの作家が書いた『笑説 大名古屋語辞典』(角川文庫 H10.3)で「砂糖水を煎じつめて作る」の「せんじ」だとある。東京の「スイ」と言うのは「氷水(コオリスイ)」の「スイ」だということもここで知った。清水義範は東京の「スイ」と比べて名古屋の言いの方が合理的だと言っている。余談になるが、この清水義範は『蕎麦ときしめん』(講談社文庫 H1.10)で、名

古屋の特性とでもいうべき点をこれでもかとはばかりに書いていてなかなか面白い。

もう一つは3年ほど前の中日新聞の「編集局デスク」というコラムに、編集局長の小出宣昭という人が『かき氷はセンジ』と題して書いていた。それによると古書に「夏の氷は宣旨(せんじ)なくば凍らずといへり」という表現があったとのことで、小出氏は「宣旨は、天皇の簡単な命令(お言葉)のことである。冷蔵庫のない昔、真冬にとった氷を夏まで貯えておく氷室があちこちに設けられ、四月から九月まで、天皇には毎日のように氷が届けられた。[氷はまだか]との天皇の宣旨が下ると、氷室の使いが山城や丹波の氷室からそろそろと献上の氷を運んだのだろう。この宣旨が、読みもそのまま[センジ]になったのだと思う。[スイ]だの[ミズレ]だのとは格が違う。夏の氷の貴さが含まれている」と威張っている。しかし都から遠く、天皇とも氷ともあまり関わりが無さそうな尾張の名古屋でなぜ「宣旨(センジ)」が活きたのか甚だ疑問である。清水義範の言う方が単純で分かりやすい。それぞれに言い分はあるのだろうが、私は京都の「みぞれ」に一番の風情を感じる。

それにしても最近「氷」の旗を下げた葦簀張りのかき氷屋がほとんど見られなくなり、冷房の利いた喫茶店で「フラッペ」とか称するかき氷や、祭りの出店で紙コップ入りの氷をプラスチックストローまがいの匙でという風潮にある。そこには「みぞれ」も「せんじ」も姿を消しつつある。昔懐かしいガラス容器で、葦簀張りの下で汗をたらしながらかき氷が食べられる店はもうないのだろうか。



朝顔の苗植えを行いました

20期（国際） 奥田 幸男

6月6日「なごやかハウス福原」において、恒例の朝顔の苗植えを行いました。

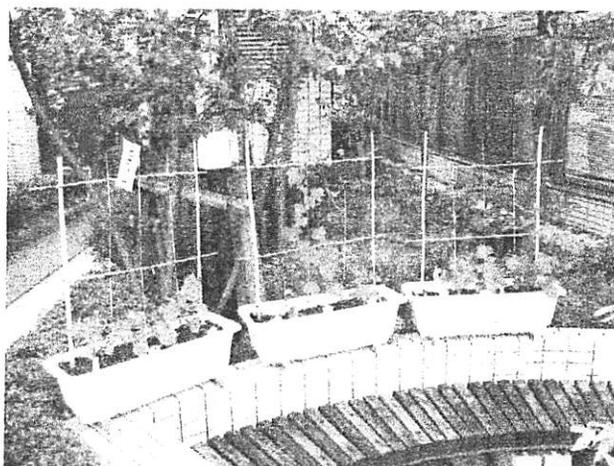
栗田顧問の指導のもと、まず土作りからはじめ、次に竹と針金を使っての垣根作りです。プランターには軽石から敷き詰め、順次土を入れて多種類の朝顔を植えました。

ところがその後、天候不順か否か要因は定かではありませんが全く根付かず、最後には根腐れし、駄目になってしまいました。

そこで、7月7日に改めて苗植えを行いました。そして伊勝学区の4名が当番を決めて交互に水遣りなどに通っており、今は順調に生育しています。

今夏も朝顔の花が皆様方に涼しさをもたらしてくれればいいなあ、と思っております。

7月30日記



タオル提出のお願い

ボランティア活動の一環として、17年度からスタートしましたタオル・雑巾の提供運動を今年も続けたいと思います。

昨年度は800枚近くをお寄せいただき、区内各施設に寄贈し、大変喜んでいただきました。引き続きのご協力、お力添えをお願いします。

12月中旬に「昭和こじょう便り」54号をお届けする際、担当ブロック委員が集めさせていただきますので、ご協力くださるようお願いいたします。

なおタオルは新品ならばコマース入りでも結構ですし、色や枚数の制限はありません。但し、封が切っていないからといっても年数を経たものは聊か難があります。ご配慮ください。



昭和鯨城リズム体操クラブニュース

リズム体操クラブ会長 17期 (国際) 辻 慶明

名古屋独特の蒸し暑い夏を乗り越え、リズム体操クラブ会員の皆様は、元気に昭和スポーツセンターにて、ちょっといい汗をかきながら、西川先生・大塚先生の明るく朗らかなご指導で、和気あいあいと健康体操を楽しんでおります。

平成 20 年上半期(4 月～9 月)の会員在籍数は 130 名で、ほぼ満員状態です。毎回の出席者数は 90 名から 100 名で、平均 95 名前後です。よって出席率は 73 パーセント程度です。

平成 20 年下半期(10 月～21 年 3 月)の日程確保の作業は 5 月頃から始まり、73 名の方に 438 枚のハガキ書きをお願いし、7 月 21 日の名古屋市スポーツ情報センターの抽選の結果、練習場所はすべて昭和スポーツセンターで取れたこと、また練習日はすべて水曜日で午後 1 時 15 分から 2 時 45 分で行なえることなど、以下のリズム体操練習日の日程が決まりましたのでお知らせします。

下半期も会員の皆様の元気なご出席をお待ちしています。

リズム体操練習日程表

*①は第 1 競技場、他はすべて第 2 競技場です

20年	10月	1日	8日	15日①	22日
	11月	5日①	12日	19日①	26日
	12月	3日	10日	17日①	24日
21年	1月	7日	14日	21日	28日
	2月	4日	—	18日①	25日
	3月	4日	11日①	18日①	25日①

ニュース

鯨城学園・秋の行事

体育祭 : 10 月 1 日(水) 中村スポーツセンター
9 時 30 分～

文化祭 : 11 月 14 日(金) 10 時～16 時
15 日(土) 10 時～14 時 30 分





名東鯨友会との親睦競技開催のご案内

17期 (文化) 永田 祐千

恒例となっております名東鯨友会との親睦グラウンドゴルフ大会を、本年度は名東鯨友会の主催で下記により開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

記

- ◎ 開催日: 10月3日(金) (雨天の場合は10月17日(金)に延期)
- ◎ 場所: 本郷公園グラウンド(名東区本郷、下記地図参照)
- ◎ 集合時間: 午前9時30分
- ◎ 競技: 10時スタート 2ラウンド予定
- ◎ 会費: 600円(賞品代他) 食事会は行なわない
- ◎ 申込期日: 9月15日(月)までに下記世話人まで電話でお申込み下さい
- ◎ 世話人: 渡辺 忠(731-8051)・吉村 卓次(831-9712)
永田 祐千(871-9537)・小塚 浩(882-3981)
- ◎ 交通経路: 地下鉄東山線本郷駅下車、北方向の坂徒歩5分
- ◎ その他: ① 駐車場がありませんので地下鉄をご利用下さい
② 雨天延期は前日19時の気象情報で決定し連絡します

お知らせ

☆ 鯨城会 16区会対抗グラウンドゴルフ大会開催を決定

鯨城会本部からの呼びかけで、去る7月26日、鯨城学園に7区のグラウンドゴルフ世話人等が集まり、見出しの事を決めました。開催時期・場所・方法等は今後会合を重ねて決めてゆきます。

☆ 9月～12月 プレー開催日程

- * プレー開始時間: 10時
9月(サマータイム)は9時30分
- * 競技場: 高速吹上高架下広場

月	競技日	練習日	競技日	練習日
9	2	9	16	30
10	7	14	21	28
11	4	11	18	25
12	2	9	16	—



俳句 越前の旅

十七期 (環境) 石橋 政雄

万緑の駅恐竜に迎へられ
人入れぬ苔庭蛇の渡りけり
御城下を離れ麦秋広がりて
七間朝市流るる水の涼しかり
朝市の会話樂しや山法師
河鹿鳴く先師の句碑や永平寺
暮の声渡る廊下の永平寺
若楓然し列なす修行僧
緑なす瓦修理の永平寺
さくさくと音の涼しき竹人形

短歌

十八期 (生活) 木村 恒

陽をうけて黄色にかがやくまんさくの
花芯は燃えたつ尖の形
河童橋のにぎわい避けてはなれ建つ
ウエストンリーフは薄暗き岩に
全面に芝敷きつめた校庭を
過保護と思うは世代の違いか
幼き日母の夜なべのわらざうり
懐かしみつつ布ぞうり編む

掲示板



粟田龍彦さん(9期 園芸)がハーモニカ会員を募集しておられます。粟田さんからの勧誘のお手紙をいただいたのでお知らせします。

子供の頃に吹いたあのハーモニカを今一度吹いてみませんか。郷愁を誘うあのメロディーを、複音ハーモニカで吹きませんか！

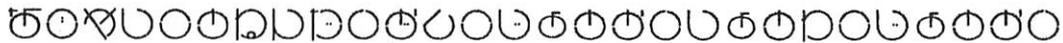
童謡／唱歌／演歌まで、好きな唄をハーモニカで吹いて、一日を楽しく過ごしましょう！

故郷・赤い靴・赤トンボ・旅愁・早春賦・里の秋・同期の桜・高校三年生・黒田節・千曲川・北国の春・白雲の城・古城・番場の忠太郎・臉の母・・・等々。

ハーモニカ演奏で、ボランティア活動するのも結構楽しいもので、人生観が変わります。是非ご連絡下さい。

昭和区元宮町 3-56 Tel:761-6663

粟田龍彦(日本ハーモニカ芸術協会会員)

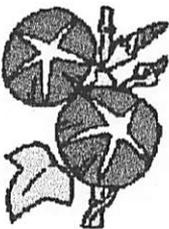


編集後記

今年の夏も暑かったですね。その上オリンピックと来てさらに熱くなりました。前宣伝のほどにはメダルの数は届きませんでした。マスメディアのオーバーに書き立てる悪い癖につい乗った自分も悪いのでしょう。その暑さも少しずつはおさまり、空の雲は秋空を感じさせ始め、蝉に替わって草叢では虫の音も聞こえるようになりました。温暖化はそれとして、地球の公転を感じさせます。今年の当地方は、梅雨時の降雨量が少なかったものの、8月の終りに大雨に見舞われました。水不足の心配は無くなったのでしょうか、気まぐれな雨の降り方には地球のどこかの歪みのようなものを感じます。

次号からは 21 期の編集委員が主力として「こじょう便り」の作成に励みます。皆様の寄稿をお待ちしつつ、一層のご協力をお願いします。

昭和鯉城会会報「昭和こじょう会便り」53号



発行責任者：長谷川 勝美

編集委員：富田 紘八郎

森 セツ子

後藤 崇

松村 照子

吉田 圭子

村上 洋三

渡辺 晴朗

日比野 勝

安福 郁子

